

同窓会ビジョン 2025

～未来をつなぐ 知恵と仲間の輪～ を策定しました

室蘭工業大学同窓会ビジョンの策定について

室蘭工業大学同窓会は、役員や参加者の高齢化とともに、若い方達の同窓会離れ、さらには2020年の新型コロナ禍による社会・経済活動の自粛或いは中止等が加わり、維持運営や活動等における課題が顕著となっています。このような同窓会の現状に対して、「同窓生のネットワーク強化」、「母校との連携強化」、「同窓への支援強化」、「コミュニケーションの活性化」に取り組んでいきたいと考えています。

このほど、支部・理事・代議員・学生の方々へのアンケート調査や意見交換会等で得られた情報等を分析・評価し、各段階での議論を重ね、同窓会の5年、10年先の方向性と目標を明確にする「同窓会ビジョン」（全体像（図-1）参照）を策定しました。策定にあたり、お忙しい中、皆さまからいただいたご協力に心から感謝申し上げます。

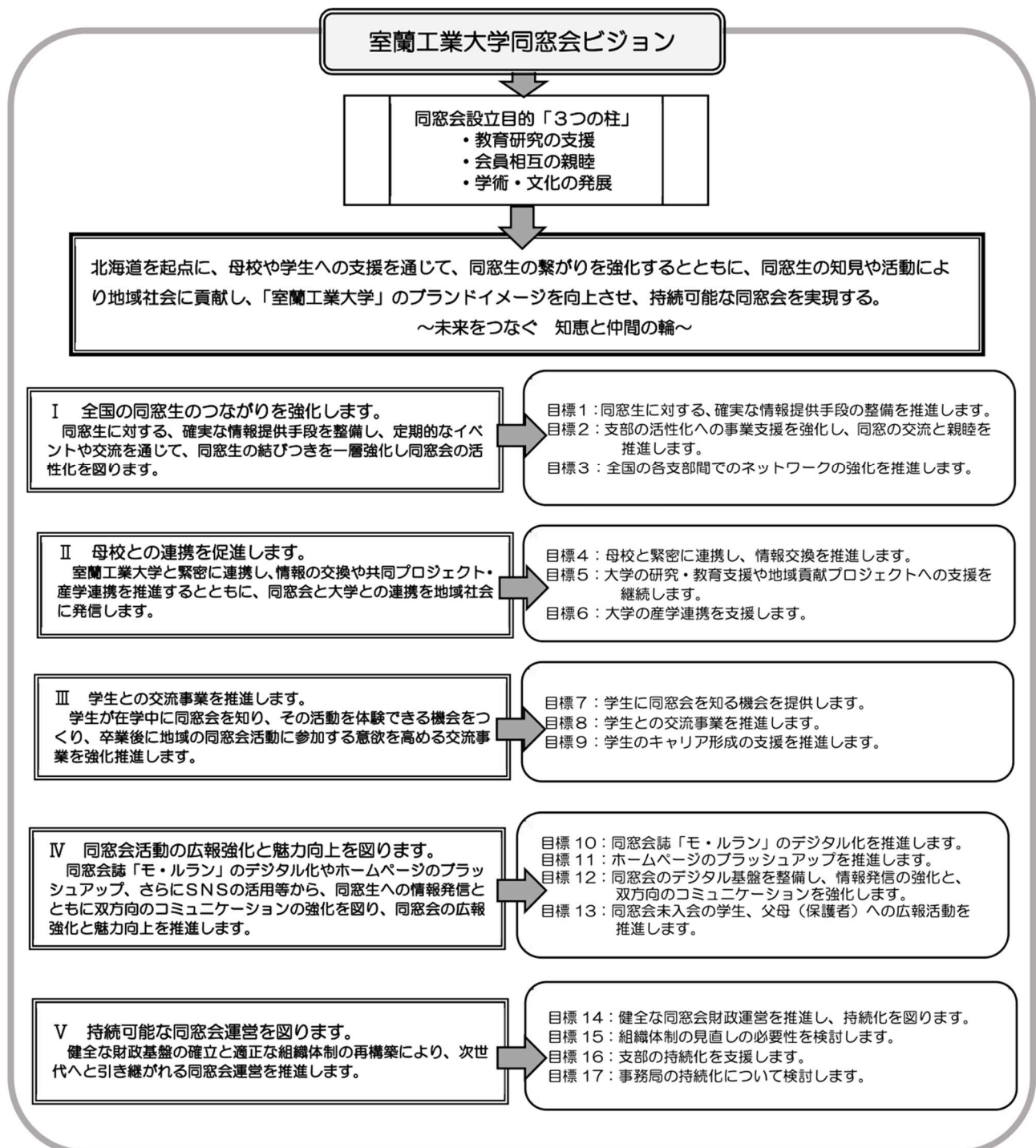


図-1 同窓会ビジョン全体像

1. 背景

令和7年4月同窓会の活動状況は、2005年（平成17年）に施行された個人情報保護法により、同窓会名簿の頒布を取りやめて以降、各支部では同窓生への連絡先の把握に苦慮している。また役員・参加者の高齢化、さらには若い同窓の無関心さから支部の活動が停滞してきた。これに加え2020年の新型コロナの感染拡大防止から社会・経済活動の制限・自粛が余儀なくされた影響が残り、多くの支部活動や、今後の維持運営について課題がある。

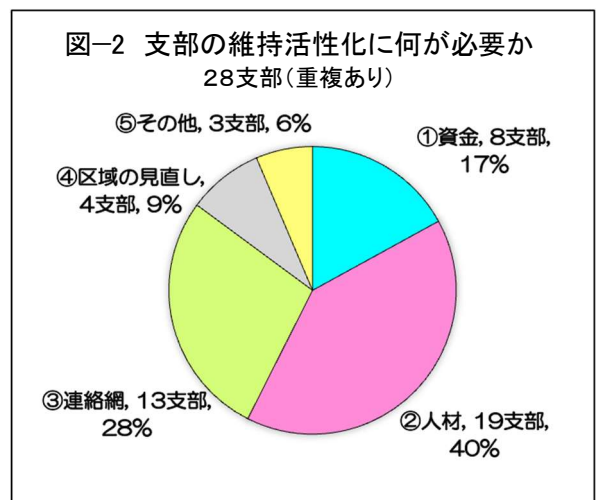
このような状況から、同窓会が今後進むべき方向・目標を明確にする「同窓会ビジョン」の策定が理事会で承認され、令和6年7月1日策定に着手し、令和7年4月24日に決定された。このビジョンの確実な実行により、同窓会の活性化と魅力の向上、さらには同窓会の持続化を図るものである。

2. 同窓会の現状と課題

アンケート調査や意見聴取から、主な現状認識や課題等を整理すると以下のとおりとなった。

①支部の活動について（支部アンケート結果（図-2）参照）

- ・現在は、役員の高齢化が進んでおり、若手役員への世代交代が求められているが、この世代の同窓生は業務や子育て等で多忙であることから、業務の効率化等による負担軽減もあわせて検討する必要がある。
- ・同窓会活動に参加する若手同窓生が少ないが、連絡先が把握されておらず、卒業生の連絡先名簿の整備等が急務となっている。
- ・同窓会ホームページの充実のほか、会報なども含め、支部活動をアピールすることが必要であり、活動内容の周知が求められている。



②大学との連携

- ・大学では、18歳人口の減少への対応や、財政難が課題と認識しているが、同窓会のアンケートでは同窓からの寄付は十分との認識が大勢となっており、スマホ決済等の少額寄付への対応や、大学を通してではなく同窓会からの直接サポートの可能性を探る必要がある。
- ・在学生に対し、同窓会活動を周知したり、卒業時に連絡先を登録してもらうためには、同窓に限らず、教員の協力が必要となっている。
- ・社会連携大学協会を介した学外協力員との連携、MONOづくりみらい共創機構への協力、札幌サテライトオフィスの活用等による、企業との共同研究実施等に繋がる取り組みが必要である。



高宮会長(左奥)と松田学長(右)の
対談状況(左手前は原田理事)

③在学生との交流等について

（学生アンケート結果（図-3 及び図-4）参照）

- ・学生会員であることを正しく理解することや、同窓会活動についての周知が必要であるほか、会員増強に向けた取り組みも必要である。
- ・在学生のニーズが高い、社会人との交流機会の創出等、同窓会で早急に協力が可能な取り組みの有無について検討が急務と考えられる。

- ・卒業後の活動に対するニーズ（同期や、部・サークルの卒業生が集まる場の提供、ゴルフなどのレクリエーション等）を把握する必要がある。

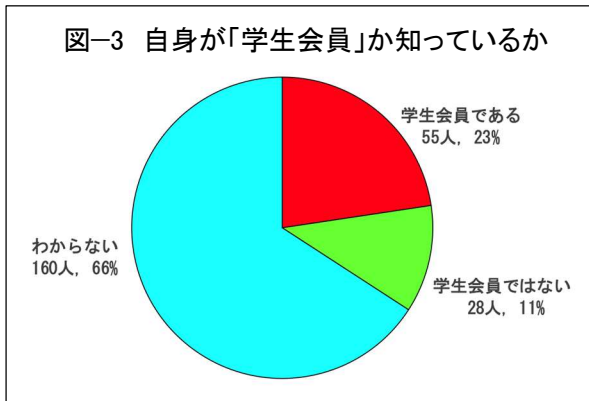
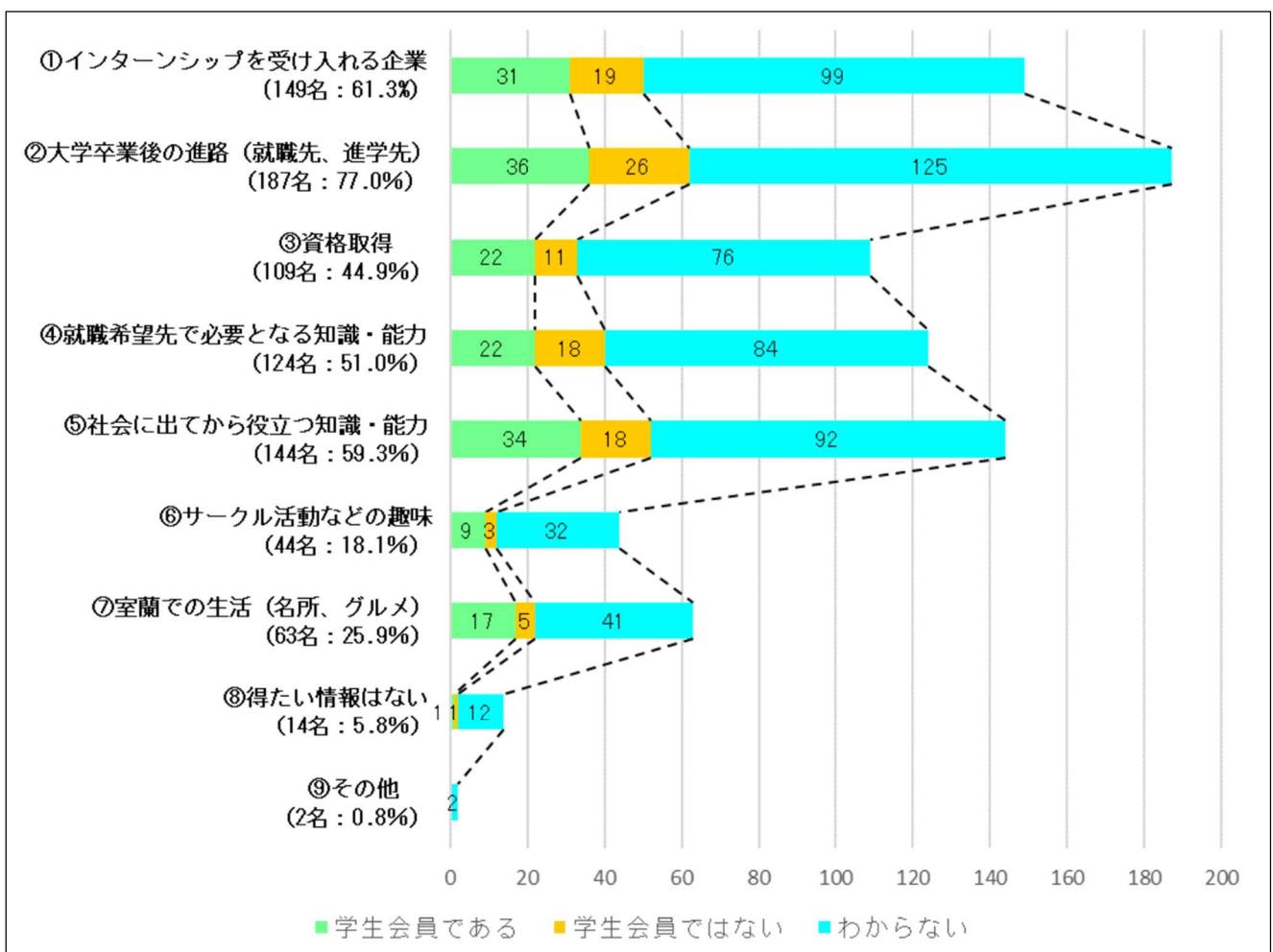


図-4 在学中にどのような情報を得たいか(複数回答可)



④同窓会活動について

- ・モ・ルランについては、掲載記事の充実や、冊子としてのあり方等、さまざまな視点から改善についての検討が必要である。
- ・同窓会ホームページについては、その充実のほか、適切な更新や、掲載ページのわかりやすさなどの運用方法についての改善も求められている。
- ・同窓会組織全般にわたり、改善の必要性についての検討が必要と考えられる。
- ・事務局業務の不明確さや業務量増大への懸念のほか、大学理事の負担を軽減し研究活動に注力できる環境整備への協力も必要である。

3. 同窓会ビジョンの策定

これまでの調査等から分析した現状と課題や同窓会の目的（表-1 参照）を踏まえ、同窓会ビジョンの理念を『北海道を起点に、母校や学生への支援を通じて、同窓生の繋がりを強化するとともに、同窓生の知見や活動により地域社会に貢献し、「室蘭工業大学」のブランドイメージを向上させ、持続可能な同窓会を実現する。』と定めた。

また、この理念を示すキャッチフレーズを『未来をつなぐ 知恵と仲間の輪』とした。

表-1 同窓会の目的(一般社団法人室蘭工業大学同窓会定款より引用)

「同窓会定款、第1章総則」

(目的) 第3条

第3条 当法人は、国立大大学法人室蘭工業大学における「教育研究の支援」を行うと共に「会員相互の親睦」を図り、「学術、文化の発展」に寄与することを目的とする。

ビジョンは、以下に示す5つの視点と17の目標で構成され、今後は、これらを達成するための21の実行計画の実施に向けた検討を行う。

I 全国の同窓生のつながりを強化します。

目標1：同窓生に対する、確実な情報提供手段の整備を推進します。

目標2：支部の活性化への事業支援を強化し、同窓の交流と親睦を推進します。

目標3：全国の各支部間でのネットワークの強化を推進します。

【目標達成に向けた実行計画】

①卒業時に、卒業後の連絡先を確実に登録する方策を推進

②支部活性化への事業支援を継続、強化

③支部間での交流、情報交換を促進

④オンラインの積極的活用

II 母校との連携を促進します。

目標4：母校と緊密に連携し、情報交換を推進します。

目標5：大学の研究・教育支援や地域貢献プロジェクトへの支援を継続します。

目標6：大学の産学連携を支援します。

【目標達成に向けた実行計画】

⑤大学と同窓会の情報交換の場を確保

⑥大学の近況についての情報提供を推進

⑦大学の研究・教育支援や、地域貢献プロジェクトの推進

⑧大学の産学連携を支援

⑨新年交礼会の開催

III 学生との交流事業を推進します。

目標7：学生に同窓会を知る機会を提供します。

目標8：学生との交流事業を推進します。

目標9：学生のキャリア形成の支援を推進します。

【目標達成に向けた実行計画】

⑩在学中に同窓会を知る機会を確保

⑪学生への活動支援強化

⑫在学生と同窓生の交流機会の創出

⑬在学生が、就職や将来のキャリア形成で必要とする情報を提供

IV 同窓会活動の広報強化と魅力向上を図ります。

目標 10：同窓会誌「モ・ルラン」のデジタル化を推進します。

目標 11：ホームページのブラッシュアップを推進します。

目標 12：同窓会のデジタル基盤を整備し、情報発信の強化と、双方向のコミュニケーションを強化します。

目標 13：同窓会未入会の学生、父母（保護者）への広報活動を推進します。

【目標達成に向けた実行計画】

⑭同窓会誌「モ・ルラン」のデジタル化と、HP での掲載移行を含めた、あり方を検討

⑮ホームページを情報発信から交流拠点化へ

⑯デジタル基盤を整備し、情報発信の強化とコミュニケーションの確保

⑰同窓会未加入学生や父母（保護者）への広報活動の推進

V 持続可能な同窓会運営を図ります。

目標 14：健全な同窓会財務運営を推進し、持続化を図ります。

目標 15：組織体制の見直しの必要性を検討します。

目標 16：支部の持続化を支援します。

目標 17：事務局の持続化について検討します。

【目標達成に向けた実行計画】

⑱令和5年度策定「次期5ヵ年財務・実施計画」に基づき財政運営を推進

⑲同窓会運営のあり方について検討

⑳支部の持続化と活性化への支援

㉑事務局業務の効率化及び、業務拡充に向けた検討と体制の確保

4. 今後の検討

今後は、上記の視点と目標を達成するための実行計画の実施に向けた検討を行うとともに、実施・進捗状況によって見直しや、新たな取り組みの必要性等について、PDCAサイクル運用しながら進捗を図っていきます。

ビジョンは、これからが始まりです。多くの同窓に「認知」「理解」され、「共感」していただき、「行動」「実践」してもらうことがビジョンの意義であります。皆さまには引き続き、同窓会活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

5. 最後に

このビジョン策定に携わっていただいた、全国の支部長、理事、代議員をはじめとする同窓会関係者の皆さま、松田学長をはじめ、学生アンケートや座談会出席にもご協力をいただいた教員の方々、学生アンケートや座談会に出席いただいた在学生の皆さま、さらには、ビジョン策定におけるさまざまな段階で、ご助言、ご協力をいただいた全ての皆さまに厚くお礼申し上げますとともに、今後のご協力をよろしくお願いいたします。

また、ビジョン策定にあたっては、ステークホルダーからの意見等を聴取することが必要となることから、以下の調査等を実施した。

①同窓会支部アンケート（令和6年4月18日～5月8日：策定時に結果を再評価）

全国各支部の運営及び活動状況、さらに今後の運営及び活動における問題や課題、そして本部に対する要望や意見を把握するため、29支部（関東支部はサブ支部別、支部長不在の留萌、福島を除く）へのアンケート調査を実施した。（回答28支部）

②同窓会理事アンケート（令和6年10月24日～11月15日）

同窓会の将来のあり方・活性化策など具体策等について、理事の意見を把握するため、全理事20名へのアンケート調査を実施した。（回答19名）

③同窓会代議員アンケート（令和6年10月24日～11月15日）

同窓会の将来のあり方・活性化策など具体策等について、代議員の意見を把握するため、全代議員30名へのアンケート調査を実施した。（回答22名）

④学生アンケート（令和6年11月12日～12月1日）

在学生に対して、同窓会の認知度や、学生生活や卒業後のニーズ等を把握すべく、アンケート調査を実施した。（回答243名）

⑤学長、会長対談（令和6年12月13日）

今後の大学と同窓会の連携を発展させるために、同窓会の進むべき方向並びに大学との連携は、どうあるべきか等について、松田学長の意見を伺うべく、高宮同窓会長との対談を実施した。

⑥在学生座談会（令和6年12月13日）

上記④のアンケート結果を踏まえ、在学生の意見を幅広く聴取するため、高宮同窓会長など、同窓会理事との座談会を実施した。（在学生5名出席）

⑦基幹支部との意見交換会（令和7年1月23日）

①から③での調査を補完するとともに、同窓会ビジョン策定に関する意見を聴取するため、基幹支部との意見交換会を実施した。（基幹支部9支部のうち7支部参加）